

クリニカルパス通信

クリニカルパスとは？



クリニカルパス

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されています。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様できる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

新パス紹介

去る4月、5月、6月のパス委員会にて新しく7個のパスが承認されました！

1. 大腸ステント留置（外科・呼吸器外科）

大腸の腫瘍による閉塞に対してメタリックステントを緊急留置した後のパスです

2. PEG造設術前外来（外科・呼吸器外科）

胃瘻造設目的に他院から紹介になった際に使用します

3. 肝硬変（外科・呼吸器外科）

肝硬変による全身倦怠感等にて入院となった場合に使用します

4. 誤嚥性肺炎（外科・呼吸器外科）

入院中の患者さんが肺炎を来した場合に使用します

5. 大腿骨近位部骨折（外科・呼吸器外科・整形外科）

当直時に大腿骨頸部骨折にて搬送された患者さんのパスです。外科で入院し整形外科転科後もそのまま使用できます

6. 経尿道的尿管ステント留置術（泌尿器科）

尿管結石や腫瘍による尿管狭窄・閉塞に対して尿管ステントの留置を行う際に使用します

7. 下部消化管内視鏡検査入院中（外科・呼吸器外科）

入院中に大腸カメラが必要となった際に使用します





現在運用中のパスは134個

外科・呼吸器外科	87
形成外科	15
眼科	5
婦人科	6
内科	2
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	3
小児科	5
循環器内科	1
看護部	5

平成30年度第1回ミニパス大会のお知らせ

先日の豪雨のため延期となりました平成30年度第1回ミニパス大会は8月8日に開催します。ふるってご参加ください！

日 時

平成30年8月8日（水） 17:30～18:00

演 題

1. 「救急疾患に対するクリニカルパス」

クリニカルパス委員長 木戸川 秀生

2. 「クリニカルパスの監査 ～診療報酬からの視点～」

経営企画課 竹佳子

【2018年4～6月パス適用率】

全体パス適用率：18.4%

